５２　室内ペタンク

青森県立種差少年自然の家

〇活動の概要〇

目標の球に対して、いかに多く自チームのボールを近づけられるかを競うゲームです。

１　ねらい

グループ内でのコミュニケーションを促進し、親睦を深めさせます。
（小学校　体育　　中学校　保健体育）

２　場所・人数・期間・時間

①　**場所・人数**　プレーホール　３６名程度
②　**期間**　通年
③　**時間**　１時間（人数により変わります）

３　職員の支援について

・物品貸し出し時にルールや安全についての説明を行うことができます。依頼があれば活動支援に入ることができます。

４　準備物

区　　分	準　備　物	備　考
団　　体	・特になし	
個　　人	・運動ができる服装・内ズック	
自然の家	・ペタンク用具一式 （レッド球６、ブルー球６、ビュット１、サークル１） ・メジャー	３セット

５　引率者の役割分担

係　名	役　　割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

６　活動の流れ

① 用具の準備
② ルールの説明と諸注意
③ 活動
④ まとめ・片づけ

７　その他

・カーリングに似たルールで、初めてプレーする人でも十分楽しむことができます。
・１度にプレーできるのは、「６人組×２グループ×３セット」の３６名になります。それ以上の人数では交代で行います。

《資料》

競技方法とルール

〔実施人数について〕

通常、下記のような人数で実施します。

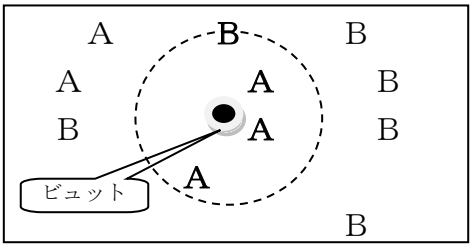
○３人対３人（トリプルス）・・・１人２個ずつのボールを持つ
○２人対２人（ダブルス）・・・・１人３個ずつのボールを持つ
○１人対１人（シングルス）・・・１人６個ずつのボールを持つ
○６人対６人・・・・・・・・・・・１人１個ずつのボールを持つ（人数が多いときにおすすめ）

〔ゲームの進め方について〕

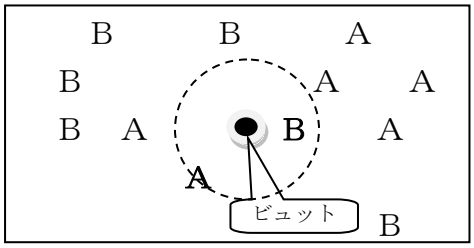
① ジャンケン、トス等で勝ったＡチームの１人がスタート地点となるところにサークルを置き、その中に立って、標的となるビュットを６ｍ～１０ｍの距離に投げる。（３回まで投げ直し可、それでも距離が合わない場合は相手チームが投げる、その際、先行はＡチームのまま）
② ビュットが６～１０ｍの距離にとまった後、引き続きＡチームの中の１人が、できるだけビュットの近くに止まるように投げる。（チーム内での投球順は自由）
③ 次に、Ｂチームの人が、Ａチームのボールよりビュットに近づくように１球目を投げる。両チームが１球ずつ投げ終えた後、どちらのボールがビュットに近いかを計る。（目測で分かるときは計測しなくてよい）
④ Ａチームの方がビュットに近かったら、遠い方のＢチームが次に投げる。ビュットに一番近いボールのチームは、相手チームが自チームよりビュットに近くなるまで待つ。
⑤ ボールが相手ボールや自チームのボール、ビュットなどに当たって動いても、そのままゲームを続ける。
⑥ １２個全部のボールが投げ終わった時点で得点を数える。

〔勝敗と得点の数え方〕

① 味方のチームのボールをビュットに一番近く配置させたチームの勝ち（下図参照）。
② 負けた側のビュットから一番近いボールより、内側にあるボールの数が得点になる。
③ １メーヌ（セット）終了時のビュットを中心にサークルを置き、そこからビュットを好きな方向へ投げて、第２メーヌを開始する（投げる場所を固定するなど、スペースに合わせてルールを変えてもよい）。このようにして、何度かメーヌを繰り返し、１３点を先取したチームが最終的に勝ちとなる。



第１メーヌ　　Ａチームは３点
　　Ｂチームは０点
第１メーヌ終了時３対０でＡチームがリード



第２メーヌ　　Ａチームは０点
　　Ｂチームは１点
第２メーヌ終了時３対１でＡチームがリード